

時習 二月号 ②

二月 十五日

あすなろ

「翌檜」 ～明日を夢見て～

「明日は檜になろう、明日は檜になろうと一生懸命に考えている木よ」

井上靖の「あすなろ物語」の一節です。檜に似ていて、「明日は檜になろう」と思っているから翌檜。語源に関して、いろいろ説はあるものの、決定的なものはないようです。（美人の日本語より）

「あすなろ物語」では、「決して檜にはなれない悲しい木」というニュアンスで書かれています。しかし、明日を夢見て生きていく自分の姿を翌檜に重ね、心の励みにしている人は多いはず。

決して、悲しい木なんかじゃない。夢を追いつけることができる自分がいて、その上、その姿に感動する人がいる。その感動の波動は、また一人一人の夢のエネルギーの基となり、力を与えてくれる。

このことは、多くの人の心を勇気づけてくれたのは間違いないことでしょう。

今、子供たちは、進級の支度をしています。

一人一人の明日を夢見て、胸を膨らませています。私たち大人が、親が、教師がその夢の実現のお手伝いができればと願っています。二十二年度の残された日々を明日につなげるために、今をしつかり努力させたいと全職員で頑張っています。

新入児保護者会

二月一〇日（木）に平成二十三年度入学予定の保護者会を開催しました。忙しい中にくさんの方に集まってくれました。

入学までに準備していただくことや入学してからの学校生活についてなど約一時間程度、説明会を持ちました。

因みに、来年度は七十一名入学予定です。この人数は微妙な人数です。あと一名転校されると二クラスの編成になります。目いっばい三十五人で二クラスです。転校がなければ二十三人と二十四人の三クラス編成となります。（さらに新二年生

は、このままいくと二クラスです。一人転入してくると三クラスです・・・誰か・・・）

特に低学年では、少人数学級で、きめ細かく指導する必要があります。生活習慣の形成



や学習習慣の形成が不可欠からです。



現一年生は、「お兄ちゃん、お姉ちゃん」として保護者の方が説明会を受けられている間、今度新しく一年生になるお友達を、楽しく迎えようということ、たくさんさんの遊びを体験させてくれていました。生

活科で学習したことをしっかりと伝えようとしていました。楽しいゲームにみんなニコニコでした。もう立派なお兄ちゃん、お姉ちゃんです。（二年生は朝からワクワクでした。）また、PTA児童文化部の皆さんによる、楽しい読み聞かせもありました。

新しく一年生になるお友達は大変お話しのでき方が上手でした。「みんな集まりましょう。」というと、静かに、サーッと集まりました。「歩いて行きましょう。」というと、誰一人走らずに場所移動ができました。

今年も一年生は「スゴイ！」という声が聞こえてきました。四月十一日をお待ちしています。「元氣いっぱいあいさつ名人・やる気いっぱい聞き方名人・笑顔いっぱいやさしさ名人」がいっぱい増えそうです。

